

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	稲沢市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日		令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準の人数よりも多く職員を配置している。	できる陰り、親子クラス3名、単独クラスは2対1の人数配置になるように意識している。	環境をより分かりやすくすることで、子ども達が児発的に動けるように支援していきたい。
2	色々な職種の専門職が入っている。	専門職による療育が平等に受け取られるように訓練日程などを組むようにしている。	専門職に入ってもらえる曜日を工夫することで、今後は少しでも多くの利用者の方が療育を受け取られるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職を含めたカンファレンスが出来ていない。	専門職の勤務時間が利用者と同じ、もしくは短いため、定期的に時間が確保できていない。	現在は児発管がそれぞれの専門職から聞き取っているが、現場の職員も同席できるようにしたい。人員配置や休憩時間の調整が必要。
2	TEACCHやPECSの専門的な知識が不足している。	心理士から学ぶための研修等の時間が確保できていない。	勉強会のための曜日や時間の確保、調整を明確にしていきたいと思っている。
3	発達段階別の療育になっていない。	様々な要因により曜日固定が出来なかった。	次年度に向けて試行期間としてグループ化を始めることにしている。